

令和8年度 いわて分析技術セミナーのご案内

～ ①【前処理実習】定量分析のための前処理法を学ぼう ～

定量分析に欠かせない試料の前処理について、試料導入（原料採取）時の注意点から酸・アルカリ溶解の基礎、サンプル調整、機器分析に至る一連の流れについて、座学と実習を通じて学びます。

「前処理実習」編では、第一線で御活躍の分析担当者から、原子吸光分析測定を行う際の前処理方法（試料採取、酸溶解、マトリックス調整、定容、標準液〔標準物質〕の取扱い）を中心に教示します。

是非、この機会に分析技術のスキルアップを目指しませんか？ 皆様の御参加をお待ち申し上げます。

- 1 日 時 令和8年10月22日（木）10:00 ～ 16:30 [受付] 9:45 開始
- 2 場 所 岩手県工業技術センター（岩手県盛岡市北飯岡2-4-25）
（2階）2-A会議室・化学分析室
- 3 共 催 （地独）岩手県工業技術センター、（公財）いわて産業振興センター
- 4 後 援 （公社）日本化学会 東北支部、（公社）日本分析化学会 東北支部、
INS 岩手県リン資源地産地消研究会、INS 環境リサイクル研究会、(株)島津製作所東北支店
- 5 参加費 無料 ※保護具のほか、分析を希望するサンプル1種類（危険でない）を御持参ください。
- 6 定 員 ものづくり企業 3社・6名 （1社当たり最大2名受入可）
- 7 プログラム

時間	テーマ及び講師	主な内容
10:00	開 講 挨 拶	
～ 10:15	【紹介】工業技術センター保有分析装置の活用事例 岩手県工業技術センター 機能材料技術部 佐々木 昭仁	・ 工業技術センター保有の分析装置の活用術 ・ 施設利用者の分析パターンの鉄則事例
10:15 ～ 10:50	【講習】湿式化学分析のABCと安全確保について 日比製煉(株)日比製煉所（三井金属グループ）分析試料課 小野 浩 講師 ※日本分析化学会誌 編集委員	・ 湿式化学分析の概要について ・ 化学分析に用いる実験器具と使い方 ・ 保護具の準備と化学反応(危険防止)について
10:50 ～ 11:15	【講習】トレーサビリティの確保と正確なサンプリング (同) 小野 浩 講師	・ 天秤の使い方とメンテナンスの基本について ・ トレーサビリティと標準物質について ・ サンプリングの基本について
11:15 ～ 11:40	【講習】試料の準備と前処理の基本操作について (同) 小野 浩 講師	・ 試料のサンプリング・保管・前処理について ・ 酸溶解とアルカリ溶解(試料の溶液化)について ・ 熟練分析技術者が注意する作業ポイント
11:45 ～ 12:00	【実習】サンプルの前処理(乾燥効果)について I (同) 小野 浩 講師 岩手県工業技術センター 素形材プロセス技術部 小野 元	・ 秤量瓶の準備とデシケーター乾燥のポイント ・ サンプル採取と恒量乾燥について ・ サンプル乾燥処理・実習
13:15 ～ 13:30	【実習】サンプルの前処理(乾燥効果)について II (同) 小野 浩 講師 (同) 小野 元、佐々木 昭仁	・ 恒量乾燥後の重量測定(水分測定)について ・ 分析前処理時に必要な確認事項 ・ 実サンプルと恒量乾燥サンプルの測定の違い
13:30 ～ 14:00	【講習】標準物質(標準液)との比較と検量線作成について (同) 小野 浩 講師	・ マトリックスマッチングとは？ ・ 検量線法(検量線溶液と測定溶液の調製)について ・ 標準添加法(測定溶液の調製)について
14:00 ～ 16:00	【実習】サンプルの前処理(酸溶解) (同) 小野 浩 講師、小野 元、佐々木 昭仁、 ※ 保護メガネ/保護靴 準備・着用のこと	・ 試料溶液化方法 ・ 測定溶液液性と測定装置への影響 ・ 廃液の適正管理と処分について
16:00 ～	【応用】アルカリ溶融法と全溶解について (同) 小野 浩 講師	・ アルカリ溶融法について ・ 完全溶解方法について
17:00	アンケート記入/閉会	

- 8 申込方法 参加申込用紙（別紙）により、メールにてお申込み下さい。
（申込締切：10月16日（金）17:00）
- 9 問合せ先 岩手県工業技術センター 機能材料技術部 佐々木 昭仁、村上 総一郎
素形材プロセス技術部 小野 元

TEL：019-635-1115、 FAX：019-635-0311、 E-mail：CD0002@pref.iwate.jp

※ 本セミナーは、公益財団法人いわて産業振興センターからの受託業務「技術力・開発力強化に係る人材育成講習委託業務」の一環で共催します。

※ 風邪等感染予防対策として、体調不良の方は、セミナー参加見合わせの御協力をお願いします。

※ 実習時の事故等発生につきましては責任を負いかねますので、保護具着用（持参・着用必須）と講師及び職員の指示に従い、安全な作業をお願いします。

令和8年度 いわて分析技術セミナーのご案内

～ ②【機器分析実習】原子吸光分析装置を用いた定量方法を学ぼう ～

定量分析の代表例として、原子吸光分析法による元素分析（定量分析）を学びます。

「機器分析実習」編では、装置メーカーの第一線で御活躍の技術者から直接技術指導を受けながら、前日の前処理実習等で得られた測定溶液を用いて、原子吸光分析の実習を行います。実際の装置に触れながら、原子吸光分析装置の使用方法和注意点を学び、検量線の作成とサンプル測定を行います。

是非、この機会に分析技術のスキルアップを目指しませんか？ 皆様の御参加をお待ち申し上げます。

- 1 日 時 令和8年10月23日（金）9:00～16:30 [受付] 8:45 開始
- 2 場 所 岩手県工業技術センター（岩手県盛岡市北飯岡2-4-25）
（2階）2-A会議室・機器分析室
- 3 共 催 （地独）岩手県工業技術センター、（公財）いわて産業振興センター
- 4 後 援 （公社）日本化学会 東北支部、（公社）日本分析化学会 東北支部、
INS 岩手県リン資源地産地消研究会、INS 環境リサイクル研究会、(株)島津製作所東北支店
- 5 参加費 無料 ※ 保護メガネ/保護靴（サンダルではない靴）を準備・着用のこと
- 6 定 員 ものづくり企業 3社・6名 （1社当たり最大2名受入可）
- 7 プログラム

時間	テーマ及び講師	主な内容
9:00 ～ 10:00	【実習】 サンプルの前処理(酸溶解)について 【実習】 標準液の取扱いと検量線の作成について 日比製煉(株)日比製煉所（三井金属グループ）分析試料課 小野 浩 講師 ※日本分析化学会誌 編集委員 岩手県工業技術センター 化学分析担当	（前日の前処理のつづき） 分析サンプル 合計 3 種類 1 鉄鋼標準物質 2 下水汚泥燃焼灰 3 持参サンプル(1種類)
10:00	開 講 挨 拶 ※前処理が完了している参加者は 10:00～となります。	
10:00 ～ 11:00	【講習】 原子吸光分析装置の基礎 (株)島津製作所 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza 分析計測事業部 Solutions COE グリーンソリューションユニット インスツルメンツ エキスパートグループ 井門 勇太 講師	・ 原子吸光分析の原理・基礎と装置について ・ 機器利用時の安全確認について ・ 装置準備について
11:00 ～ 12:00	【実習】 原子吸光分析装置における検量線の作成と サンプル測定 (同) 井門 勇太 講師	・ 原子吸光分析装置によるサンプル測定・実習 ※ 岩手県工業技術センター保有の原子吸光分析 装置を用いて実習します。 ・ 前処理(調整)液の導入と測定 ・ 吸光度と濃度の関係について [実際に測定します]
13:15 ～ 14:30		
15:00 ～ 16:00	【演習】 分析結果の確認と結果相違の考察 (同) 小野 浩 講師	・ 前処理の違い(検量線法、標準添加法、アルカリ溶 融)毎の結果確認 ・ 原子吸光分析の振り返り
16:00 ～ 16:15	【参考】 トレーサビリティと分析関連資格について (同) 小野 浩 講師	・ 分析業務に関わる国家資格 ・ トレーサビリティ、社内標準化の取組とは？ ・ 分析器材と標準物質の管理
16:15 ～	技術相談 ・ アンケート記入	
16:30	閉会	

- 8 申込方法 参加申込用紙（別紙）により、メールにてお申込み下さい。
（申込締切：10月16日（金）17:00）
- 9 問合せ先 岩手県工業技術センター 機能材料技術部 佐々木 昭仁、村上 総一郎
素形材プロセス技術部 小野 元
TEL：019-635-1115、 FAX：019-635-0311、 E-mail：CD0002@pref.iwate.jp

※ 本セミナーは、公益財団法人いわて産業振興センターからの受託業務「技術力・開発力強化に係る人材育成講習委託業務」の一環で共催します。

※ 風邪等感染予防対策として、体調不良の方は、セミナー参加見合わせの御協力をお願いします。

※ 実習時の事故等発生につきましては責任を負いかねますので、保護具着用（持参・着用必須）と講師及び職員員の指示に従い、安全な作業をお願いします。